

5月は水防月間です もしもの時に備えましょう



予知が困難とされる地震と違い、台風や大雨はある程度まで時期や規模を予測することができます。しかし、突発的な局地的豪雨のように予測が難しいものもあり、大きな被害をもたらすことがあります。これらの被害を最小限度にとどめるために、正確な気象情報の収集と、身近な環境変化に注意しましょう。

● 問合せ先 土木管理課 (☎2484)

無理に水の中を歩かない

歩ける深さは男性で約70センチ、女性で約50センチ。水の深さが腰まである場合、無理は禁物です。水に浸かっていない場所で救助を待ちましょう。



水中でも脱げない靴を選ぶ



素足や長靴は禁物です。ヒモで締められる運動靴を選んだほうが良いでしょう。

洪水が起きたときの避難方法

幼児や高齢者の安全を確保する

高齢者や身体の不自由な人は背負いましょう。幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保して避難しましょう。



移動は常に安全確認しながら

水の中を歩く場合は、長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。はぐれないようお互いの体をロープで結んで避難しましょう。



安全・安心情報を手に入れよう

『防災ネット あんあん』

佐賀県では、県民の皆さんの安全・安心を確保するための一助として、携帯電話などのメール機能を使った各種防災情報などを配信するシステム『防災ネット あんあん』を運用しています。皆さんもぜひ登録して、地域の防災活動や安全・安心の確保に役立てましょう。

《配信される情報》

1. 防災情報
2. 防犯情報
3. 緊急情報
4. 火災情報
5. 災害発生時の安否確認情報



← 登録はこちら

防災ネットあんあん
佐賀県情報 QRコード

※携帯電話のバーコードリーダー機能で撮影すると簡単に登録サイトへ進むことができます。

○防災ネットあんあん <http://esam.jp/>

● 問合せ先 佐賀県統括本部消防防災課

(☎0952-7027)

さて今回は、大連の主な祝日について紹介します。祝祭日は、旧暦、新暦それぞれにあります。伝統的な節句は、ほとんどが旧暦で、基本的に記念日は、新暦で祝います。

旧暦1月1日は春節（旧正月）です。中国で最も重要な祝日で、日本の正月に当たり、一般的に大晦日（かみか）には家族が集まり、ご馳走（ちしん）を食ったり、爆竹（はくしやく）を鳴らしたりして新年を迎えます。1週間の正月休み（しんげつ）の間には、花火大会や美食祭、演芸会など多くのイベントが行われます。また、家の門や窓に「福」の字を逆さまにした切り紙（オシロイ）を貼ります。これは、中国語で逆さまを意味する「倒」が、到来の「到」と同じ発音であり、「福」を逆さま（倒）にすると、「福」が到来すると信じられていることから行われているものです。日本と同じように、子どもへのお年玉（おとしご）もありです。

旧暦1月15日は元宵節（元宵）で、この日は、餅米で作った餛飩子（ユンシヤウ）を食ったり、燈籠（とうろう）を飾ったりします。元宵節は、灯節とも称され、長崎ランタンフェスティバルのような雰囲気です。

旧暦5月5日は端午節（端午）で、日本での端午の節句に当たります。中国では、粽（ちまき）を食べる習慣がありますが、日本では柏餅（かしらもち）を食べるそうですね。今年は柏餅をぜひ食べてみたいですね。



↑長崎ランタンフェスティバルに行ってきました

このコーナーでは隔月で、韓静さんから見た伊万里や大連市の文化・風習など、皆さんに紹介していきます。

ちやきちやきの大連っ子

中国大連市
公務研修生
韓静リポート ②

韓静（カン セイ）
▽1966年遼寧省大連市中山区生まれ 47歳
▽家族構成 夫、娘1人
▽所属 大連市公安局出入境管理局（出入国の査証、パスポートなどの管理）